

～4月臨時会～

4月臨時会を4月9日に開催しました。市長から提出された議案は、「稲沢市税条例等の一部を改正する条例について」など2件、同意案1件をいずれも原案を可決・同意しました。

～5月臨時会～

5月臨時会を5月13日に開催しました。市長から提案された議案は、主に新型コロナウイルス感染症対策に伴う議案等で、「稲沢市国民健康保険条例の一部を改正する条例について」など5件をいずれも原案を可決しました。

～6月定例議会～

6月定例議会は、6月11日から29日までの19日間の会期で行われました。市長から提出された議案の「市長、副市長及び教育長の給与の特例に関する条例の制定について」と議員から発議案の「稲沢市議会議員の議員報酬の特例に関する条例の制定について」を冒頭に議決し、市長、副市長、教育長、議員の6か月間の報酬と期末手当の10%を削減することにしました。

また、市長からの提出された「稲沢市税条例の一部を改正する条例について」など20件、報告11件、眞野副市長を再任する同意案1件をいずれも原案を可決・同意しました。

☆新型コロナウイルス感染症緊急対策（国、県、市事業を抜粋）

☆印は、稲沢市独自の対策事業

★個人対象事業

- ・特別定額給付金事業：一人あたり一律10万円支給
- ・子育て世帯への臨時特別給付金：児童手当を受給する世帯に、対象児童一人あたり1万円支給
- ☆小中学生への図書カードの配付：小中学生に家庭学習支援として図書カード(1,000円分)を支給
- ☆就学援助世帯への昼食費の支援：就学援助費が必要な世帯に対して、4・5月分の昼食費を支援
- ・住宅確保給付金：給与等が減少し、離職や廃業と同程度の状況にある方を対象に家賃相当額を支給
- ・国民健康保険傷病手当金：感染又は感染が疑われる被保険者で労務に服することができない被用者の方に傷病手当金を支給



- ☆小中学校給食費の無償化：6月から8月までの小中学校の給食費を無償化
- ☆保育園・幼稚園等給食費の無償化：6月から8月までの保育園・認定こども園の給食費を無償化
- ☆新生児臨時特例給付位金：特別定額給付金の基準日が過ぎて生まれた子どもの父又は母を対象に、子ども一人あたり一律10万円支給 ※支給対象者：4月28日から5月31日までに生まれた子どもの父又は母

★事業者対象事業

- ・県・市新型コロナウイルス感染症対策協助力金：愛知県緊急事態措置に基づく、県の休業要請に応じて、休業・営業時間短縮に協力いただいた事業者に対し協助力金50万円を支給
- ☆市新型コロナウイルス感染症対策協助力金：県・市新型コロナウイルス感染症対策協助力金の対象とならない食事提供施設等で、休業・営業時間短縮に協力いただいた事業者に対し協助力金10万円を支給
- ☆理美容事業者休業協助力金：休業いただいた理容業・美容業の事業者に対し県と市を合わせて20万円支給
- ・いなざわ事業者げんき補助金：小規模事業者が行う事業所の感染予防や売上改善等の取り組みを支援するため補助金交付 ※補助率：2/3、上限：10万円
- ・給食事業者への事業継続支援補助金：小中学校の臨時休業に伴い、市への給食食材費等の請求取り下げに協力した事業者へ事業継続支援補助金を交付
- ☆民間児童福祉施設等職員応援金：緊急事態宣言中も継続協力した民間保育園等に10万円を県から交付、稲沢市も上乗せして交付。

★個人・事業者対象事業

- ☆水道料金の基本料金の免除：個人及び事業者の7月から10月請求分までの水道料金の基本料金を免除

☆ほしのマガジン☆

NO. 53

発行：星野しゅんじ後援会

〒492-8143 稲沢市駅前3丁目2-21

TEL/FAX 0587-32-9905 E-mail shunji@pastel.ocn.ne.jp

ホームページ <https://shunji-hoshino.com/>



～ごあいさつ～

暑い日が続いていますが、皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の影響で、私たちの生活は大きな変化を求められるようになりました。更に、東京オリンピック・パラリンピックの延期や地域の夏まつりなどの中止も余儀なくされました。

その一方で、稲沢市における新型コロナウイルス感染症の患者数は、4月下旬以降の感染者は発生していません。献身的に活動していただいている医療関係者をはじめ行政、事業者、市民の皆さまに感謝申し上げます。

今回は、今までに経験したことがないほどの厳しい状況に陥っていますが、地域一丸となって沈滞ムードを払しょくするとともに、私たちができる予防策（マスク着用、手洗い・うがいの励行、三密を避けるなど）と最新のITを活用した新たな生活様式を構築する事により、この難局を乗り越えていく必要があります。第二波の懸念がありますが、市民の皆さまとともに、新型コロナウイルス感染症に打ち勝ちましょう。

また、今年の夏も日本各地で集中豪雨が発生し、多くの犠牲者を出しました。改めて、お悔やみを申し上げます。今年は、阪神淡路大震災から25年、東海大豪雨から20年と節目の年となりました。コロナ禍ではありますが、防災対策の重要性を再認識し、取り組んでいきます。

さて、市民の皆さまとコロナ禍を乗り越えるために、「ひと」への更なる投資で稲沢の「次のステージ」へ向かう必要があります。「ひと」づくりと「まち」づくり、持続可能な地域社会の「みらい」を切り拓きます。市民の皆さまの「笑顔」を届けるために邁進してまいります。

私が生まれ育った稲沢の「まち」、そこに住む「ひと」と「みらい」が「かがやく」まちづくりに挑戦して、「新星☆いなざわ」を目指します。

皆さまには、ご指導を賜りますよう宜しくお願いします。

3月定例議会、4月臨時会、5月臨時会、6月定例議会のご報告をさせていただきます。ご意見、ご感想をいただけましたら幸いです。

※3月定例議会の一般質問の右記QRコードから一般質問の録画を見ることができます。



稲沢市議会議員 星野俊次



3月定例議会一般質問

ご意見・ご要望をお待ちしています！

市政に関するご意見、ご質問がありましたら「星野事務所」(TEL/FAX:0587-32-9905)までご連絡ください。E-mail shunji@pastel.ocn.ne.jpでも受け付けています。

【プロフィール】

1975年愛知県稲沢市生まれ 45歳 稲沢市議会議員（五期）
議会活動：総務委員会委員長、議会運営委員会委員、広報広聴委員会委員
家 族：妻と一男一女の四大家族



稲沢勝手に
応援団長
ほし☆のん

～3月定例議会～

3月定例議会は、2月26日から3月26日までの会期で開かれました。市長から提出された議案は、「令和2年度一般会計予算」など36件、報告1件、同意案2件をいずれも原案を可決・同意しました。

また、「中高年のひきこもりに対する実効性のある支援と対策を求める意見書」を可決し、内閣総理大臣等へ提出しました。

★令和2年度の主な新規（拡充）事業

☆東分庁舎等整備事業

17億1,446千円

内容：災害対策拠点、福祉事務所（福祉課）及び社会福祉協議会の機能を集約整備

時期：令和2年9月下旬完成予定



☆休日急病診療所整備費補助

2億3,263万円

内容：現在の敷地で建て替え工事を行い、建設期間中は、旧明治スズラン児童センターを改修し、仮設の休日急病診療所として使用

時期：令和3年4月運用開始予定

☆洪水ハザードマップ作成事業

1,300万円

内容：水防法の改正に伴い、国及び県が想定できる最大規模の降雨に対応した浸水想定を公表したことから、これに対応した避難方法等を住民等に適切に周知するために洪水ハザードマップを作成する

時期：令和2年度内に作成予定

☆子ども医療費助成事業

7億332万円

内容：高校生等の入院医療費につき、保険診療分の自己負担額を全額償還払いで助成する

時期：令和2年8月診療分から



☆（仮称）イチョウ見本園整備事業

3億7,754万円

内容：「祖父江ぎんなん」のさらなるブランド化の強化・確立を図るため、代表品種の保全を行い、県外にPRする場として、（仮称）イチョウ見本園を整備する

時期：令和2年度内に完成予定

☆公立保育園、小・中学校防犯カメラ整備事業

1億2,380万円

内容：安全確保ため設置済みの保育園を除いた16園全園と小・中学校全校に防犯カメラを設置する

時期：令和2年度中



☆稲沢おでかけタクシー事業

2,200万円

内容：市内に住所を有する75歳以上の高齢者及び障がい者などを対象として、外出支援事業「稲沢おでかけタクシー」の導入に向けて、実証実験を市内全域に拡大

時期：令和2年4月1日～令和3年3月31日

☆学校運営協議会設置事業

24万円

内容：学校、保護者、地域住民等が連携して知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させる仕組みを構築する

対象校：大里東中学校、千代田中学校、大里東小学校（令和3年度以降順次拡大予定）

～一般質問の内容～

3月5日に一般質問を行いました。主な発言内容は、下記の通りです。質問項目と質問内容をまとめました。また、下記アドレスでもご覧いただけます。

<http://inazawa.gijiroku.com/voices/>

1. 財政運営について

- (1) 令和2年度予算について
- (2) 財政規律について
- (3) 今後の見通しについて

令和2年度の当初予算が過去最大の517億3,000万円となった理由を質問しました。

稲沢市からは、新分庁舎や祖父江生涯学習施設をはじめとする各種建設事業費が集中したことに加え、昨年が発生した環境センターの火災に係る復旧工事費が重なり、投資的経費が前年度比195%、約115億円となった。

また、今後の歳出と自治体の借金である地方債残高は、令和2年度がピークとなり減少していく計画との答弁でした。

そこで、将来にわたって規律ある財政運営を進めるため、財政指標の目標設定や財政運営の「見える化・標準化」を図る「財政規律ガイドライン」を策定するように要望しました。

2. 行政運営について

- (1) 稲沢市定員適正化計画について
 - ア. 現状の取り組みについて
 - イ. 年齢構成について
 - ウ. 就職氷河期世代を対象にした職員採用について
 - エ. 今後の見通しについて
- (2) 職員人材育成基本方針について
 - ア. 現状の取り組みについて
 - イ. 今後の取り組みについて

稲沢市の職員は、40歳前後が少なく、手薄な年齢構成になっている。そこで、就職氷河期世代を見据えた採用と人材育成計画について質問しました。

稲沢市からは、人事評価制度などを活用した人材育成を図りながら、能力のある若い世代の職員を抜てきすることなどを含め、適材適所による人員配置に努める。また、就職氷河期世代に相当する年齢層を対象とした採用は、来年度は、先進の自治体の状況を含め、研究して、柔軟に対応していくとの答弁でした。

そこで、今後は働き方の変化や定年制度の見直し、人材育成の内容も時代の変化に対応していくことが不可欠であるので、人事課の強化を要望しました。

3. 稲沢市民病院について

- (1) 稲沢市民病院改革プランについて
- (2) 今までの取り組みについて
- (3) 今後のビジョンについて

稲沢市民病院改革プランに示される経営指標の数値目標達成度、取り組みの進捗状況を質問しました。

稲沢市からは、数値目標は近い将来純損益が黒字化するように設定したが、平成30年度の実績値では医師数が目標よりも6名少ないことが影響し、達成できない項目が多くあったとのことでした。また、医師の年齢構成は、40代が少なく、指導的立場の医師不足により休日・夜間の受け入れ態勢の維持を課題とし、更に、看護師の年齢構成は、交代制による不規則・長時間勤務による疲労や結婚・育児などによる早期退職が多くなっていると答弁がありました。

そこで、これらの課題を踏まえると稲沢市民病院で独自で解決できるとは考えられないので、人的交流をしている一宮市民病院と連携して将来の市民病院をビジョンを描いてほしいと要望した。

